

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
基礎物理 Basic Physics		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	講義	選択	(特になし)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
亀田和則	講義棟3階	月曜日		授業中に指示します
授業の概要				
高校時代に物理を学習していない学生に対して、物理学の基本を簡単説明する。				
授業の目標				
運動とは何か、電気とは何かを説明できるようにする。				
授業の方法				
講義形式で、必要に応じて演習を行いながら進める。 理解度の確認を1回実施する。				
学習の成果(学習成果)				
授業の目標を達成すると、一年後期から開講される「物理学」を学習するための基礎を準備することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス(学習成果、成績評価) 物体の運動			
第2回目	運動の表し方、速度の合成と相対速度、加速度			
第3回目	等加速度直線運動①			
第4回目	等加速度直線運動②			
第5回目	力、力の合成・分解			
第6回目	力のつりあい、作用反作用、いろいろな力			

第7回目	運動方程式・重力、運動方程式の立て方	
第8回目	2つの物体の運動方程式	
第9回目	三角比・斜面上にある物体が受ける重力の分解、斜面上にある物体の運動	
第10回目	電流と電子	
第11回目	オームの法則	
第12回目	電力と電力量	
第13回目	発電と送電	
第14回目	交流と変圧	
第15回目	理解度の確認と解説	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		
レポート	50%	演習が該当する。満点となる条件は「すべての計算過程と解答が正解」である。
調査報告書		
小テスト	50%	理解度の確認が該当する。満点となる条件は「すべての計算過程と解答が正解」である。
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
授業で適宜資料プリント等を配布する。		
履修上の留意点・ルール		
2回の遅刻は1回の欠席となる		